年頭のご挨拶

上士幌町長
竹　中　　貢

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの5類移行により社会経済に復活の兆しを感じるとともに、2023ワールド・ベースボール・クラシックにおいては3大会ぶりに侍ジャパンが優勝するなど、明るいニュースに希望を感じる一方、依然として続くロシアによるウクライナ侵攻に加え、ガザ地区をめぐるイスラエルとハマスによる紛争は国際情勢に影を落とすなど、強く記憶に残る一年でもありました。

第50回のメモリアル大会を迎えた北海道バルーンフェスティバルでは、全国津々浦々から参加した沢山のチーム・来場者が会場を盛り上げ、成功裏に終わりました。また、スマートフォンで便利に買い物ができるスマートストアやお弁当などのデリバリーサービスなど、デジタル化による利便性の向上も前進しています。さらに、「脱炭素先行地域」として本格的なスタートを迎えた昨年は、再エネ設備導入補助金等により太陽光などのクリーンエネルギーが普及促進するとともに、10月にぬかびら源泉郷で開催された「世界気候エネルギー首長誓約」ではインドネシアや韓国など、各国の加盟自治体の首長とともに、地球温暖化対策で連帯することを確認しました。

本年も「未来につなぐ 笑顔かがやく 元気まち上士幌」をテーマに、地方と都市の格差をデジタル化によって縮め、世界と繋がる「デジタル田園都市国家構想」に取り組み、ゼロカーボン実現とSDGs推進により経済・社会・環境問題の調和を図り、地方創生を実現する政策に取り組んでまいります。

地方を取り巻く情勢は依然厳しいものでありますが、引き続き子育て・教育支援、高齢者福祉の充実を図る生涯活躍のまちづくりに職員一同全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が町民のみなさま一人ひとりにとって素晴らしい年になりますよう心からお祈りを申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和六年 辰年

上士幌町議会議長
小　椋　茂　明

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、上士幌町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。併せて、町議会への日頃のご理解とご協力に対しお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類へ移行され、経済の回復に向けて一歩近づく年となりました。しばらく続いた制限や制約が緩和されることで、本町におきましても、企業活動や消費活動の活性化が期待されるところです。

一方で、飼料や資材価格の高騰は、農業経営に多大な影響を及ぼし、非常に厳しい環境に置かれているところであります。本町の基幹産業である農業の持続的発展は、本町経済にとって重要不可欠でありますので、大変危惧しているところであります。

また、昨夏は、本町はもとより全国的に猛暑の日々が続きました。気候変動への対策がますます重要となるなか、本町においては脱炭素先行地域として脱炭素の取り組みを推進しているところであります。再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの促進、地域の森林資源の活用など、様々な施策の実施による地域の持続可能な発展に向け、引き続き、町民の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

さて、私ども議員は昨年改選を迎え、5月から新たな体制がスタートしました。引き続き、議会改革の推進を図るため「上士幌町議会基本条例」の具現化に向け、議員全員で真剣に議論を重ねているところです。

二元代表制の一翼を担う町議会は、議会基本条例を遵守し、多くの町民の声に耳を傾けながらその信頼と付託に応えるため、より一層活発な議会活動を展開するとともに議会基本条例に基づき「分かりやすい議会　開かれた議会」を目指し、より一層の議会改革に積極的に取り組んでまいる所存でありますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、町民の皆さまにとりまして健康で実り多い良い年になりますよう、ご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。